

重症外傷患者におけるペントラキシン 3 を用いた persistent inflammation, immunosuppression, and catabolism syndrome (PICS) 合併と予後の予測

2014 年 8 月～2018 年 12 月までに当院で行われた研究『重症患者における血清 MFG-E8 活性と臓器障害の関連性の解明』または『重症患者における炎症調節機構と臓器障害の関連性の解明』にご参加頂いた患者さん

研究協力をお願い

当科では「重症外傷患者におけるペントラキシン 3 を用い persistent inflammation, immunosuppression, and catabolism syndrome (PICS) 合併と予後の予測」という研究を行います。この研究は、2014 年 8 月～2018 年 12 月までに当院で行われた他研究（『重症患者における血清 MFG-E8 活性と臓器障害の関連性の解明』、『重症患者における炎症調節機構と臓器障害の関連性の解明』）にご参加頂いた患者さんに対して追加で行う研究です。本研究はこれらの派生研究であるため、直接のご同意を頂く形ではなく、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施させていただきます。本研究の具体的な研究目的や研究方法を以下にお示し致します。皆様方におかれましては主旨をご理解頂き、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：persistent inflammation, immunosuppression, and catabolism syndrome(PICS) 合併と予後の予測

研究期間：2022 年 3 月 1 日～2027 年 3 月 31 日（対象期間：2014 年 8 月～2018 年 12 月）

研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 救命救急科 福山 唯太

(2) 研究の意義、目的について

ペントラキシン 3 (PTX3) は通常の血中に微量で存在しているタンパクですが、敗血症などの重症疾患の急性期の炎症に反応して上昇することが知られております。これまでの研究で PTX3 の血中濃度が高値であると敗血症の重症度や死亡に関連することがわかってきております。

重症外傷も敗血症などと同じように全身に炎症が起こります。この炎症は出血時の血液が凝固する作用を抑制すると考えられています。また、この炎症反応を防御するのに体内では抗炎症反応という炎症を鎮めようとする反応が起こります。これらの反応は生体の正常な防御反応なのですが、ときに過剰となることがあり、コントロールがつかなくなる場合があります。この制御不能な状態が続くと長期的に人体に有害な作用を及ぼします。炎症が長く続き、免疫が抑えられ、体のタンパクが合成されず分解が進んだ状態となり、これを PICS と呼びます。これらの有害事象を予測する方法は現在なく、起きたらその都度対応するしか方法がありません。そのため体内の炎症に反応して上昇する PTX3 が病状を反映するようであれば、先に述べた有害事象に対して早期に準備や対処することが可能となり、有益ではないかと考えております。これまでに外傷患者で PTX3 が予後を予測できるか調べた報告は限られており、信頼できる程の十分なデータはありません。今回、私達は PTX3 の測定値の推移と外傷の実際の予後について検証を行うことを目的としております。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

本研究は 2014 年 8 月～2018 年 12 月までに当院で行われた他研究（『重症患者における血清 MFG-E8 活性と臓器障害の関連性の解明』、『重症患者における炎症調節機構と臓器障害の関連性の解明』）にご参加頂いた 169 名の皆様が対象となります。上記研究で患者さんから当該機関に救命救急センターに入院している間に採血した検体を用いて PTX3 の測定を行います。採血は来院日と、以後 2, 3, 5, 7, 14 日目に採取しており、現在は当院で冷凍保存しております。測定について

は当院または外部委託にて行います。検体は冷凍庫に保管してあるものを用いますので新たに採血して頂く必要はありません。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする生命科学医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学千葉北総病院 救命救急科 助教 福山 唯太
〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715
電話番号：0476-99-1111（代表） 内線：3111
メールアドレス：f-yuita@nms.ac.jp